

2011年3月29日

ラクオリア創薬株式会社  
代表取締役 長久 厚  
問い合わせ先: 稲垣/斉藤  
電話番号: 0569-84-0700  
E-mail: ask@raqualia.com

各位

## アシッドポンプ拮抗薬の臨床試験で良好な成績

ラクオリア創薬株式会社(本社:愛知県知多郡武豊町 代表取締役社長 長久厚)は、2010年8月より実施していたアシッドポンプ拮抗薬(RQ-00000004)の臨床第I相試験において、良好な成績を得ましたのでお知らせします。

RQ-00000004 は、胃酸の分泌に関わるアシッドポンプに結合し、胃酸の分泌を抑制します。RQ-00000004 は、胃食道逆流症(GERD)治療薬としての第一選択薬であるプロトンポンプ阻害薬(PPI)と比較して、より強力で速やかに作用を發揮し、かつ持続性のある胃酸分泌抑制効果を薬理試験で示しています。PPI では十分な治療効果が得られない患者さんにとって新しい治療の選択肢となるばかりでなく、速やかに胃酸の分泌を抑制する必要がある患者さんにとっても非常に有効な治療法となることが期待できます。

米国で実施したRQ-00000004の臨床第I相試験では、一般的に臨床第I相試験で検討される安全性・忍容性と薬物動態のみならず、胃内pH(注1)への効果も同時に検討できる試験デザインで実施し、RQ-00000004の優れた効果の特長を、臨床第I相試験という開発初期段階で確認することができました。本試験の成績は、2011年5月7日よりアメリカ・シカゴで開催される「Digestive Disease Week 2011」にて口演発表する予定です(注2)。

ラクオリア創薬は、最先端の技術を活用して、医療上のニーズが高い領域で新たな医薬品を生み出すことを目指す研究開発型企業です。探索研究の成果として創出した新たな開発化合物の製品コンセプトを開発初期段階で確認し、製薬企業とのパートナーシップを通じて新薬を上市することで、真に社会に貢献していきたいと考えています。

---

(注1): 水素イオン濃度pHを検出できるチューブを鼻から胃内に通し、胃内のpHを24時間測定します。胃内pHはGERD治療薬の効果の指標の一つと考えられています。

(注2): 成績要旨—健康な男性ボランティアに、本剤の3mgから300mgまでの用量を単回投与し、安全性と忍容性、薬物動態の解析とともに、胃内pHレベルをバイオマーカーとしてRQ-00000004の胃酸分泌への効果を検討しました。その結果、本試験で使用した用量において、RQ-00000004の安全性と忍容性、用量に依存した血中濃度の上昇が確認されました。更にRQ-00000004の胃酸分泌への効果に関しては、30mg以上の用量において投与後約1時間で胃内pHが6以上に達すること、胃内pHの各種パラメーターが用量依存的に変化すること、食事を取ることなくRQ-00000004が胃内pHを上昇させること、就寝前投与により夜間の胃内pHを4-6のレベルで朝まで維持できること、などが確認されました。

以上